

**NEWS RELEASE**

移動通信システムの高速大容量化・低消費電力化とお客様の生産性向上に貢献  
**第5世代移動通信システム基地局向け「25Gbps EML CAN」発売のお知らせ**

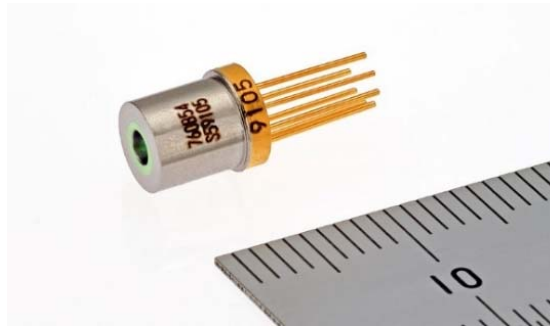
三菱電機株式会社は、第5世代（5G）移動通信システム基地局ネットワークの光ファイバー通信で使用される光通信デバイスの新製品として、「25Gbps<sup>※1</sup> EML<sup>※2</sup> CAN<sup>※3</sup>」を11月1日に発売します。移動通信システムの高速大容量化・低消費電力化とお客様の生産性向上に貢献します。

なお、本製品は「China International Optoelectronic Exposition (CIOE) 2018」（9月5日～8日、於：中国・深圳）に出展します。

※1 25Gbps (Giga-bits per seconds)：1秒間に250億個のデジタル符号を送送できる通信レート単位

※2 Electro-absorption Modulator Laser：電界吸収型光変調器を集積した半導体レーザー

※3 CAN (TO-CAN)：光通信デバイスで広く用いられている生産性（量産性）に優れたパッケージ



25Gbps EML CAN 「ML760B54」

**新製品の特長**

**1. 伝送速度 25Gbps を実現し、移動通信システムの高速大容量化に貢献**

- ・25Gbps EML 製品として業界で初めて<sup>※4</sup>TO-CAN パッケージを採用
- ・TO-CAN パッケージの広帯域化により、EML 素子を搭載した TO-CAN パッケージ製品として業界初<sup>※4</sup>の伝送速度 25Gbps を実現し、移動通信システムの高速大容量化に貢献

※4 2018年9月4日時点、当社調べ

**2. 消費電力を約 40%低減し、移動通信システムの低消費電力化に貢献**

- ・熱電変換素子<sup>※5</sup>の小型化により消費電力を従来製品比約 40%低減<sup>※6</sup>し、移動通信システムの低消費電力化に貢献

※5 EML 素子の動作温度を一定に保つための熱と電力を変換する素子

※6 当社従来製品「FU-411REA」との比較

**3. 製品組み立てが容易で、お客様の生産性向上に貢献**

- ・TO-CAN パッケージの採用により従来製品<sup>※7</sup>と外形寸法の互換性を確保
- ・一芯双方向光モジュール<sup>※8</sup>や光トランシーバーなどへの組み立てが容易となり、生産性向上に貢献

※7 業界標準の TO-56 CAN パッケージ（パッケージサイズφ5.6mm）を使用した当社および他社製品

※8 一芯の光ファイバーで双方向通信が可能な光モジュール

**発売の概要**

製品名	形名	発振波長	動作保証温度範囲	サンプル価格	発売日
25Gbps EML CAN	ML760B54	1270nm, 1310nm	-40℃～+95℃	オープン	11月1日

報道関係からの  
お問い合わせ先

〒100-8310 東京都千代田区丸の内二丁目7番3号 TEL 03-3218-2359 FAX 03-3218-2431  
三菱電機株式会社 広報部

## 発売の狙い

スマートフォンやタブレットなどの携帯端末の普及や情報のクラウド化に伴い、データ通信量が急速に増大している中、移動通信システムは第4世代から第5世代へ移行し、トラフィックが集中する基地局と基地局からの通信信号の集中制御を行う収容局間には、大容量高速光通信システムを適用することが計画されています。

このような中、移動通信システムの構成部品である光トランシーバーなどを生産するお客様からは、光通信デバイス的高速動作と消費電力の低減が求められています。

当社は今回、これらのニーズに応えるとともに、TO-CANパッケージの採用によりお客様の製品組み立てが容易な第5世代移動通信システム基地局用「25Gbps EML CAN」を発売します。これにより、移動通信システムの高速度大容量化・低消費電力化とお客様の生産性向上に貢献します。

## 主な仕様

形名	ML760B54
波長	1270±10nm, 1310±10nm
光出力	+10dBm 以上(典型値)
消光比	6dB 以上(典型値)
動作保証温度範囲	-40℃～+95℃
熱変換素子の消費電力	0.28W(+95℃時の典型値)
パッケージサイズ	φ 5.6mm

## 環境への配慮

本製品は、RoHS 指令<sup>※9</sup> (2011/65/EU) に準拠しています。

※9 Restriction of the use of certain Hazardous Substances in electrical and electronic equipment

## 製品担当

三菱電機株式会社 高周波光デバイス製作所  
〒664-8641 兵庫県伊丹市瑞原四丁目1番地

## お客様からのお問い合わせ先

三菱電機株式会社 半導体・デバイス第二事業部 高周波光デバイス営業第一部  
〒100-8310 東京都千代田区丸の内二丁目7番3号  
TEL 03-3218-3687 FAX 03-3218-4862  
URL <http://www.MitsubishiElectric.co.jp/semiconductors/>